



統計スポット情報

NO. 149

20.10.9

福井県総務部政策統計課

— 生涯スリムな福井県民 ～統計から見た県民健康チェック～ —

暦も10月に入り「食欲の秋」もたけなわですが、おいしいからと言っても食べ過ぎには御用心。この季節には、夏に疲れた体を癒し、体調を整えることが大事ではないでしょうか。

また、10月10日は「目の愛護デー」にあたってまいりますので、今回は、福井県民の健康度をはかる統計を集めてみました。



【福井県民は子どもも大人もスリム】

文部科学省の「平成19年度学校保健統計調査」によると、福井県内の16歳女子の平均身長は158.7cmで全国1位、13歳女子は155.8cmで全国2位となるなど、県内の子どもたちの身長は全国と比較して高い傾向にあります。一方、体重は、概ね全国中位にあり、本県の子どもたちの体型は、全体的に長身やせ形のスリムな体型であるようです。

また、厚生労働省の資料から成人の肥満度をみると、で「肥満」とされるBMI (Body Mass Index : 肥満度を図る国際的な指標) 25以上の者の割合は、平成16年度には、本県の男性が28.1%で全国36位、女性が16.7%で全国40位となっており、本県は、成人も全体的にスリムであるといえるようです。

○子どもの体型(男女別身長、体重の推移)

	＜男子＞			＜女子＞			＜男子＞			＜女子＞		
	身長(cm)	体重(kg)	順位									
7歳	122.5	24.2	35	121.6	23.5	37	122.2	24.2	24	121.2	23.2	39
8	128.3	27.4	13	127.4	26.6	7	128.4	27.6	14	127.9	26.8	17
9	133.6	30.7	12	133.5	30.0	24	133.9	30.8	22	133.4	29.6	37
10	139.0	34.4	12	140.3	34.3	6	139.3	34.6	18	141.0	34.6	19
11	145.1	38.7	9	146.8	39.1	19	145.6	39.7	10	146.9	38.5	40
12	152.5	44.5	18	152.1	44.1	6	152.6	44.2	27	152.6	44.0	26
13	159.8	49.6	7	155.1	47.6	2	160.6	49.4	22	155.8	47.9	16
14	165.2	54.7	17	156.7	50.3	4	165.4	54.1	34	157.4	50.5	17
15	168.5	60.0	7	157.3	52.1	19	168.9	59.6	28	157.4	51.3	41
16	170.0	62.0	26	157.8	53.2	1	169.8	62.0	16	158.7	53.5	18
17	170.8	63.7	19	158.0	53.5	3	171.0	63.2	30	158.7	53.5	22

※ 黄色い背景…身長は全国10位以上、体重は全国40位以下のもの

○成人の肥満度(生活習慣病予防検診におけるBMI25以上の者の割合(平成16年度))

＜男子＞			＜女子＞		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	46.9	1	沖縄県	26.1
2	北海道	34.8	2	青森県	22.7
3	徳島県	34.4	3	徳島県	22.2
35	鳥取県	28.2	39	長野県	16.8
36	福井県	28.1	40	福井県	16.7
37	長野県	28.1	41	愛知県	16.7
46	島根県	25.5	46	大阪府	15.2
47	新潟県	25.2	47	東京都	15.1
	全国平均	30.2		全国平均	18.5



※BMI (Body Mass Index)

体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される体格指数のこと
で、肥満度をはかる国際的な指標。

22を標準とし、18.5以下なら「やせ」、25以上が「肥満」となる。

出典:平成19年版厚生労働白書

「第21回政府管掌健康保険事業運営懇談会資料」
(2004年度政府管掌健康保険において生活習慣病検診を実施した約347万人の受診結果からの集計)

【いも、野菜が多い福井県民の食生活】

独立行政法人国立健康・栄養研究所の分析によると、福井県民の1日当たり食品群別摂取状況の全国順位は、いも類が男性3位、女性1位、野菜類は男性9位、女性13位と上位になっています。

一方、肉類、乳類の摂取量は、男女とも全国40位前後、栄養素摂取状況からみても、たんぱく質および動物性たんぱく質摂取量は男女とも47位、脂質は男性が44位、女性が47位と、いずれも下位に位置しています。

県民のこうしたヘルシーな食生活が、「肥満」とされる者の割合を押し下げている理由のひとつかもしれない。



食品群別および栄養素摂取状況の全国順位（平成13～17年平均）

<男性>

	福井県順位	最も高い県	最も低い県
食品群別摂取状況			
いも類	3位	富山県	香川県
野菜類	9位	新潟県	香川県
肉類	37位	宮崎県	富山県
乳類	44位	奈良県	長崎県
栄養素摂取状況			
たんぱく質	47位	和歌山県	岡山県(46位)
動物性たんぱく質	47位	北海道	岡山県(46位)
脂質	44位	石川県	青森県

<女性>

	福井県順位	最も高い県	最も低い県
食品群別摂取状況			
いも類	1位	富山県(2位)	香川県
野菜類	13位	徳島県	奈良県、島根県
肉類	44位	神奈川県	岩手県
乳類	33位	徳島県	熊本県
栄養素摂取状況			
たんぱく質	47位	徳島県	長崎県(46位)
動物性たんぱく質	47位	徳島県	長崎県(46位)
脂質	47位	兵庫県	福島県(46位)

※福井県が1位もしくは47位の項目については、2位もしくは46位の県を記載している。



出典：独立行政法人国立健康・栄養研究所（平成20年3月15日発行）

「国民健康・栄養調査を活用した健康及び栄養水準に係る都道府県別ベンチマーク指標の検討」

【健康長寿ふくい】

福井県は、男女ともに健康長寿の県として全国的に知られていることは、皆さん御存知ですね。（平成17年の平均寿命は、男性79.47歳（全国4位）、女性86.25歳（全国11位））

（出典：厚生労働省 平成17年都道府県別生命表）

ところで、三大生活習慣病といわれる悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患により亡くなられている方の状況を見ると、福井県はいずれの病気においても、男女とも年齢調整死亡率が全国平均以下になっています。

古くから受け継がれてきた福井の食生活や、ふくいの自然豊かな気候風土、肥満者の割合の低さなどが健康長寿を支えているものと考えられます。

○三大死因による死亡の状況（都道府県別 人口10万人当たり年齢調整死亡率(※)）（平成17年）

<男性>

	福井県		全国平均(人)	死亡率が最も高い県	死亡率が最も低い県
	死亡率(人)	全国順位			
悪性新生物(がん)	181.6	41位	197.7	青森県	長野県
心疾患	77.5	36位	83.7	青森県	福岡県
脳血管疾患	56.7	35位	61.9	青森県	和歌山県

<女性>

	福井県		全国平均(人)	死亡率が最も高い県	死亡率が最も低い県
	死亡率(人)	全国順位			
悪性新生物(がん)	94.5	29位	97.3	大阪府	岡山県
心疾患	39.7	41位	45.3	愛媛県	福岡県
脳血管疾患	35.1	27位	36.1	栃木県	沖縄県

出典：厚生労働省大臣官房統計情報部

「都道府県別に見た死亡の状況—平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況—」

※年齢調整死亡率

年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率



[目の愛護デーに寄せて]

最後に、10月10日の「目の愛護デー」にちなんで、子どもたちの(6~14歳)の裸眼視力(1.0未満の者)と、併せて、う歯(=虫歯)のある者(処置完了者も含む)の状況のみてみました。

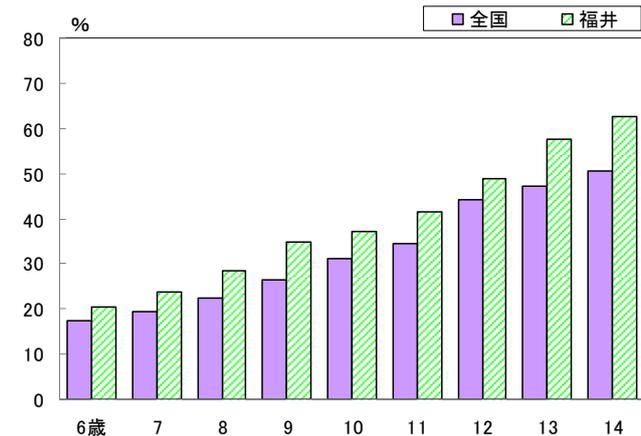
視力については、福井県、全国とも年齢が上がるにつれて、視力が悪くなる傾向にあります。本県は、男子・女子とも全国水準よりも視力が悪くなっています。

う歯についても、視力と同様、本県は全国と比較してう歯のある者の割合が高いようです。福井の青少年の皆さん、日ごろから目や歯を大切にするように心がけましょう。

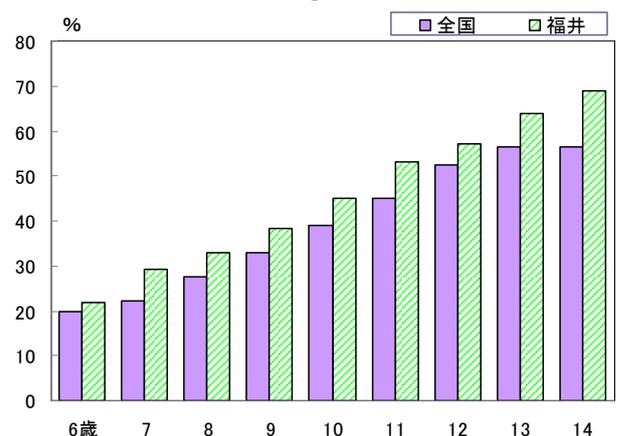


○裸眼視力が1.0未満の者の割合(6~14歳)(19年度)

<男子>

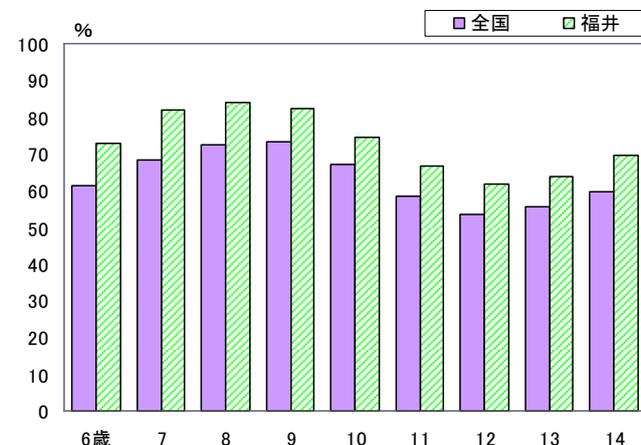


<女子>

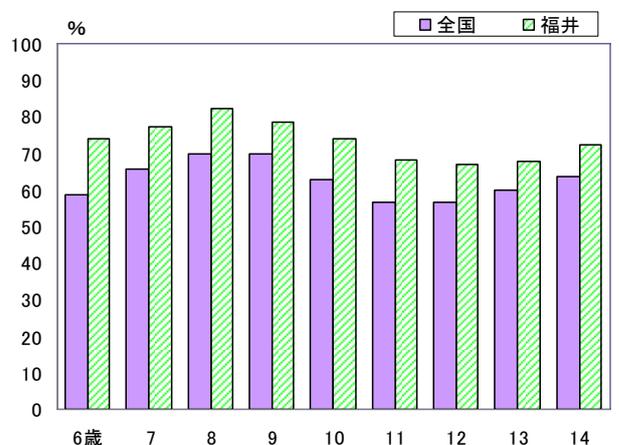


○う歯(虫歯; 処置完了者も含む)の者の割合(6~14歳)(19年度)

<男子>



<女子>



出典：平成19年度学校保健統計調査(文部科学省)

《10月10日は記念日がいっぱい》

「目の愛護デー」は、10月10日の「10・10」を横に倒すと目と眉の形に見えることから定められたそうですが、これは割と分かりやすいですね。でも、10月10日はその他にもいろいろな記念日に定められています。皆さんは、どれくらいご存知でしたか。

主な記念日…「アイメイト・デー」(盲導犬の日)、「釣りの日」(魚の異名「とと」の語呂あわせ)、「缶詰の日」

(1877年のこの日に北海道石狩町で日本最初の缶詰が作られたことによる)、「マグロの日」(726年のこの日に山部赤人がまぐろ漁をたたえた歌を詠んだことによる)、「島の日」、「銭湯の日」、「冷凍めんの日」、「トマトの日」、「totoの日」、「萌えの日」(縦に書いた「十月」と「十日」を合わせると「萌」)、「世界精神保健デー」等